

一年神飾り



1

- 1 : 押田家の年神飾り (平成16年 南部町井上)
- 2 : 年徳神飾り (昭和59年 南部町境 : 鳥取県立博物館提供)
- 3 : トンド飾り (平成8年 南部町福成 : 鳥取県立博物館提供)



3



2

正月に各家庭に訪れる神様を「年神」「正月神」「歳徳神」などといいます。この神様をお迎えして祀るのが正月行事です。

年神飾りは地方によって様々で、鳥取県の中・西部の農家では**1**の写真のように、その年にまく稲の種もみを入れた大きな俵を2つ並べ、その上にむしろを敷き、御幣を立てて神饌を備える祭壇を作って豊作を祈ります。また、**2**の写真のような懸け竿の飾りにも、大根は豊作、昆布は喜ぶなど、それぞれおめでたい意味を持ったものが供えられます。

小正月にはその年飾った飾りを持ち寄って焼く「トンド」が行われます。飾りによって出迎えた年神を炎で見送るとされています。**3**の写真はトンドの飾りで、空き地に立てたのぼりに黒松や竹などを飾り付けています。

現在ではこのような飾りや行事を目にする機会が少なくなってきましたが、町内には習慣を大切に受け継いでいる方達がおられます。